

平成 3 0 年度

環境調査結果報告書

幸 田 町

目 次

| | |
|------------------|----|
| I 環 境 概 況 | 1 |
| 1 大 気 汚 染 | |
| 2 水 質 汚 濁 | |
| 3 騒 音 | |
| II 本 編 | |
| 1 大 気 汚 染 | 2 |
| 1-1 一般大気環境測定結果 | |
| 1-2 有害大気汚染物質測定結果 | |
| 1-3 ダイオキシン類測定結果 | |
| 2 水 質 汚 濁 | 4 |
| 2-1 河川水質調査結果 | |
| 2-2 地下水調査結果 | |
| 2-3 工場排水調査結果 | |
| 3 騒 音 | 6 |
| 4 農薬汚染調査 | 6 |
| III 資 料 編 | |
| 1 大 気 汚 染 | 7 |
| 2 水 質 汚 濁 | 16 |
| 2-1 河川水質調査結果 | |
| 2-2 地下水調査結果 | |
| 2-3 工場排水調査結果 | |
| 3 騒 音 | 44 |

用 語 集

I 環境概況

幸田町は、町民の健康的な暮らしとより良い生活環境保全のために、町内の大気汚染や水質汚濁の状況などの環境調査を継続的に実施している。

平成 30 年度環境調査結果の概況は以下のとおりである。

1 大気汚染（資料編：P7～15）

環境基準項目（10 項目）を夏季、冬季に各 1 回調査した。10 項目のうち 9 項目は、夏季、冬季ともに環境基準値を満たした。夏季における光化学オキシダント（1 時間値の最高値）が環境基準値を超過した。

2 水質汚濁

(1) 河川水質（資料編：P16～36）

幸田町内の 12 河川（全 16 地点）の水質検査を実施した。16 地点のうち、夏季は 3 地点、秋季は 13 地点が生活環境項目の環境基準値を満たした。また、16 地点のうち 2 地点については重金属等有害項目の検査も実施した。その結果は、2 地点ともに環境基準値を満たした。

(2) 地下水水質（資料編：P37～40）

幸田町内の地下水を 17 地点で検査した。全 17 地点のうち 16 地点が地下水環境基準値を満たし、1 地点が地下水環境基準値（鉛及びその化合物）を超過した。

(3) 工場排水水質（資料編：P41～43）

幸田町内の 9 事業所の排水の調査を実施した。全 9 事業所が排水基準値を満たした。

3 騒音（資料編：P44～53）

国道 23 号線に近接する地点（幸田町芦谷地内の 1 地点）で騒音測定を実施した。騒音は、昼間及び夜間の両区分が環境基準値を満たした。

II 本 編

1 大気汚染

1-1 一般大気環境測定結果（資料編：P7～15）

一般大気環境測定を幸田町保健センター敷地内において夏季（平成30年7月25日～8月1日）、冬季（平成31年1月16日～1月23日）に実施した。測定項目は、環境基準が設定されている浮遊粒子状物質等5項目（浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素及び光化学オキシダント）とした。

測定の結果、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素は夏季、冬季ともに環境基準値を満たした。光化学オキシダントは、冬季は環境基準値を満たしたが、夏季は環境基準値を超過した。一般大気環境測定結果は表II 1-1のとおりである。

表II 1-1 一般大気環境測定結果の概要

| 調査項目 | | | 調査結果 | | 環境基準 |
|-----------|-------------|-------------------|-------|-------|--------------------------|
| | | | 夏季 | 冬季 | |
| 浮遊粒子状物質 | 日平均値 | mg/m ³ | 0.035 | 0.010 | 0.10mg/m ³ 以下 |
| | 1時間値の最高値 | | 0.081 | 0.053 | 0.20mg/m ³ 以下 |
| 二酸化窒素 | 日平均値 | ppm | 0.010 | 0.016 | 0.04ppm～0.06ppmまたはそれ以下 |
| | 1時間値の最高値 | | 0.025 | 0.041 | - |
| 二酸化硫黄 | 日平均値 | ppm | 0.001 | 0.001 | 0.04ppm以下 |
| | 1時間値の最高値 | | 0.003 | 0.004 | 0.1ppm以下 |
| 一酸化炭素 | 日平均値 | ppm | 0.3 | 0.6 | 10ppm以下 |
| | 時間平均値 | | 0.3 | 0.8 | 8時間平均値が20ppm以下 |
| 光化学オキシダント | 日平均値 | ppm | 0.034 | 0.023 | - |
| | 昼間の1時間値の最高値 | | 0.083 | 0.042 | 0.06ppm以下 |

1-2 有害大気汚染物質測定結果

有害大気汚染物質測定を幸田町保健センター敷地内において夏季及び冬季に実施した。測定項目は環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンとした。

測定の結果、全測定結果が環境基準値を満たした。詳細は、表II 1-2のとおりである。

表II 1-2 有害大気汚染物質測定結果

| 調査項目 | | | 調査結果 | | 環境基準 |
|------------|--------|-------------------|----------|---------|--------------------------------|
| | | | 夏季 | 冬季 | |
| ジクロロメタン | 日測定値 | mg/m ³ | 0.0010 | 0.0011 | - |
| | 日測定平均値 | | 0.0011 | | 年間平均値0.15mg/m ³ 以下 |
| ベンゼン | 日測定値 | mg/m ³ | 0.0024 | 0.00099 | - |
| | 日測定平均値 | | 0.0017 | | 年間平均値0.003mg/m ³ 以下 |
| トリクロロエチレン | 日測定値 | mg/m ³ | <0.0001 | 0.0002 | - |
| | 日測定平均値 | | 0.0002 | | 年間平均値0.2mg/m ³ 以下 |
| テトラクロロエチレン | 日測定値 | mg/m ³ | <0.00004 | 0.00007 | - |
| | 日測定平均値 | | 0.00006 | | 年間平均値0.2mg/m ³ 以下 |

1-3 ダイオキシン類測定結果

ダイオキシン類測定を幸田町保健センター屋上において夏季（平成30年7月25日～8月1日）、冬季（平成31年1月16日～1月23日）に実施した。

測定の結果、大気中ダイオキシン類は環境基準値を満たした。詳細は、表Ⅱ1-3のとおりである。

表Ⅱ1-3 ダイオキシン類測定結果

| 調査項目 | | | 調査結果 | | 環境基準 |
|---------|--------|-----------------------|-------|-------|-----------------------------|
| | | | 夏季 | 冬季 | |
| ダイオキシン類 | 日測定値 | pg-TEQ/m ³ | 0.046 | 0.017 | - |
| | 日測定平均値 | | 0.032 | | 0.6pg-TEQ/m ³ 以下 |

2 水質汚濁

2-1 河川水質調査結果 (資料編：P16～36)

幸田町内の12河川(16地点)の水質調査を2回(平成30年7月及び11月)実施した。

今回の調査対象河川は、環境基準が設定されていないが、参考として調査結果を広田川下流の矢作古川全域が適用される環境基準(河川B類型)と比較した。環境基準値を超過した地点、項目を表Ⅱ2-1に示した。

夏季調査(平成30年7月2日実施)は、溶存酸素量、浮遊物質量、生物化学的酸素要求量が全地点(16地点)で環境基準値に適合した。水素イオン濃度は、全16地点のうち14地点が環境基準値に適合し、2地点が環境基準値を超過した。また、大腸菌群数は、全16地点のうち4地点が環境基準値に適合し、12地点が環境基準値を超過した。

秋季調査(平成30年11月16日実施)は、溶存酸素量、浮遊物質量が全地点(16地点)で環境基準値に適合し、健康項目(カドミウムはじめ8項目)も全地点(調査対象2地点)が環境基準値に適合した。水素イオン濃度は、全16地点のうち14地点が環境基準値に適合し、2地点が環境基準値を超過した。また、大腸菌群数及び生物化学的酸素要求量は、全16地点のうち15地点が環境基準値に適合し、1地点が環境基準値を超過した。

表Ⅱ2-1 河川環境基準超過地点

夏季(平成30年7月2日)調査分

| 調査地点 | 水素イオン濃度 | 大腸菌群数 |
|------------|-------------|---------|
| 石川 下橋 | — | 14,000 |
| 広田川 新田橋 | — | 9,200 |
| 相見川 新御殿橋 | — | 11,000 |
| 田多美川 赤川宅裏橋 | 9.3 | — |
| 前田川 前田橋 | 8.7 | 13,000 |
| 赤川 広田川合流 | — | 17,000 |
| 広田川 広田橋 | — | 9,200 |
| 前野川 前野橋 | — | 9,200 |
| 広田川 神前橋 | — | 17,000 |
| 舟山川 中川橋 | — | 11,000 |
| 拾石川 海谷橋 | — | 7,000 |
| 足後川 落合橋 | — | 5,400 |
| 拾石川 堀留橋 | — | 5,400 |
| 環境基準値(B類型) | 6.5以上 8.5以下 | 5,000以下 |

秋季(平成30年11月16日)調査分

| 調査地点 | 水素イオン濃度 | 大腸菌群数 | 生物化学的酸素要求量 |
|------------|-------------|---------|------------|
| 田多美川 赤川宅裏橋 | 9.1 | — | — |
| 前田川 前田橋 | 9.2 | — | — |
| 舟山川 中川橋 | — | 9,200 | 4.0 |
| 環境基準値(B類型) | 6.5以上 8.5以下 | 5,000以下 | 3以下 |

2-2 地下水調査結果 (資料編：P37～40)

幸田町内の個人宅14地点・事業所1地点・公共施設1地点・上水道ポンプ場1地点(計17地点)の地下水について、地下水環境基準項目及び水道水質基準項目の調査を実施した。その結果、17地点のうち16地点が地下水環境基準値を満たした。

地下水環境基準値を超過した調査地点、また参考として調査結果が水道水質基準を超過した地点をまとめ表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要に示した。

表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要

| 水質分析項目及び単位 | | ①簡易上水道ポンプ場 | ③高力 | ④坂崎学区 | ⑤坂崎学区 | ⑥坂崎学区 | ⑦幸田学区 | 地下水環境基準値 | <参考>水道水質基準値 |
|-------------|------|------------|------|-------|----------------|-------|-------|----------|-------------|
| 一般細菌 | 個/ml | 260 | | | 410 | 1300 | | — | 100 |
| 大腸菌 | — | (+) | | | | | | — | 検出されないこと |
| 鉛及びその化合物 | mg/L | | | | 0.030 * | | | 0.01 | 0.00.01 |
| 鉄及びその化合物 | mg/L | | | | 1.2 | | | — | 0.3 |
| マンガン及びその化合物 | mg/L | | 0.26 | 0.059 | 0.055 | 0.072 | 0.13 | — | 0.05 |
| pH値 | — | | | | | 5.3 | | — | 5.8～8.6 |
| 臭気 | — | 微土臭 | | | 微土臭 | 微土臭 | | — | 異常でないこと |
| 色度 | 度 | | | | 9.7 | 8.3 | | — | 5以下 |
| 濁度 | 度 | | | | 5.9 | | | — | 2以下 |

*: 地下水環境基準超過を示す。

| 水質分析項目及び単位 | | ⑧幸田学区 | ⑨中央学区 | ⑬豊坂学区 | ⑭豊坂学区 | ⑯健康の道沢水(荻) | 地下水環境基準値 | <参考>水道水質基準値 |
|-------------|------|-------|-------|-------|-------|------------|----------|-------------|
| 一般細菌 | 個/ml | 290 | 1300 | 1600 | | 180 | — | 100 |
| 大腸菌 | — | | | | | (+) | — | 検出されないこと |
| 鉛及びその化合物 | mg/L | | | | | | 0.01 | 0.00.01 |
| 鉄及びその化合物 | mg/L | | | | | | — | 0.3 |
| マンガン及びその化合物 | mg/L | | | | | | — | 0.05 |
| pH値 | — | | | | 5.4 | | — | 5.8～8.6 |
| 臭気 | — | | 微青草臭 | 微土臭 | | | — | 異常でないこと |
| 色度 | 度 | | | | | | — | 5以下 |
| 濁度 | 度 | | | | | | — | 2以下 |

2-3 工場排水 (資料編：P41～43)

幸田町内の事業所9箇所(株デンソー 幸田製作所、株アピックス、中村精機株、日軽エムシーアルミ株幸田工場、幸南工業株幸田工場、三輪晒染株、道の駅 筆柿の里・幸田、ドミー幸田店、株エアウィーブ 幸田工場)の排水の水質検査を実施した。水質検査の結果、全事業所が排水規制基準値を満たした。

3 騒音 (資料編：P 44～53)

国道 2 3 号線の沿線 1 地点 (芦谷地区) において騒音調査を実施した。調査結果を表 II 3-1 に示した。測定結果は、昼間及び夜間ともに環境基準値を満たした。

表 II 3-1 騒音調査結果

| 時間区分 | 騒音レベル | 環境基準 |
|-------------------------|-------|-------|
| 昼 間 (午前 6 時～午後 10 時) | 61 dB | 70 dB |
| 夜 間 (午後 10 時～午前 6 時) | 59 dB | 65 dB |

4 農薬汚染調査 (ゴルフ場)

葵カントリークラブ内の調整池 1 地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値以下であった。

表 II 4-1 葵カントリークラブ 平岩池 水質検査結果

| 水質検査項目 | 水質検査結果 | 指針値 |
|--------------|--------------|----------|
| ダイアジノン (殺虫剤) | 0.005mg/L 未満 | 0.05mg/L |
| オキシ銅 (殺菌剤) | 0.02 mg/L 未満 | 0.4 mg/L |
| チオファネートメチル | 0.3 mg/L 未満 | 3 mg/L |
| バリダマイシン | 1 mg/L 未満 | 12 mg/L |
| ボスカリド | 0.1 mg/L 未満 | 1.1 mg/L |
| プロピザミド | 0.05 mg/L 未満 | 0.5 mg/L |